

※百分率は小数第二位で四捨五入するため、合計が100%にならない場合があります。



# 自転車の交通事故発生状況

## 令和3年中



### 1 自転車の交通事故発生状況

令和3年中の自転車事故（同乗者を含む自転車乗用者が死傷した交通事故）は、前年と比較して発生件数及び負傷者数ともに減少していますが、死亡事故は5件5人で1件1人の増加となりました。

【 自転車の交通事故発生状況 】

(令和3年中)

区 分	発生件数	死亡事故		負傷者数		
		件 数	死者数	重 傷	軽 傷	計
本 年	586	5	5	84	504	588
前 年	664	4	4	119	546	665
増 減 数	-78	1	1	-35	-42	-77
増 減 率	-11.7	25.0	25.0	-29.4	-7.7	-11.6

【 自転車の交通死亡事故発生状況 】

(令和3年中)

No.	発 生 年 月 日 等										死者 高齢者	
	年	月	日	時	曜	昼夜	天候	発生場所	路線	形状		事故類型
1	3	1	15	6	金	夜	曇	亘理町逢隈十文字	町道	直線	四輪対自転車	◎
2	3	2	12	7	金	昼	晴	利府町赤沼	国道	直線	四輪対自転車	◎
3	3	3	28	18	日	夜	雨	大河原町金ヶ瀬	町道	直線	四輪対自転車	◎
4	3	5	4	21	火	夜	晴	泉区小角	県道	直線	四輪対自転車	
5	3	8	19	9	木	昼	晴	岩沼市稻荷町	市道	直線	四輪対自転車	◎

### 2 仙台市内の自転車交通事故の発生状況

仙台市内の自転車事故は、発生件数及び死傷者数ともに前年比で減少していますが、県内の6割以上(586件中390件、66.6%)が仙台市内で発生しています。

内訳は、青葉区107件、宮城野区58件、若林区90件、太白区72件、泉区63件で、死亡事故は泉区内で1件発生しています。



【 仙台市内の自転車の交通事故発生状況 】

(令和3年中)

区 分	発生件数	死亡事故		負傷者数		
		件 数	死者数	重 傷	軽 傷	計
本 年	390	1	1	48	348	396
前 年	429	2	2	70	361	431
増 減 数	-39	-1	-1	-22	-13	-35
増 減 率	-9.1	-50.0	-50.0	-31.4	-3.6	-8.1

### 3 自転車が第1当事者となった事故の発生状況 (基礎データ平成28年～令和3年)

令和3年中、自転車が第1当事者となった人身交通事故は22件発生しており、前年比で16件減少しています。

区 分	自転車×歩行者			自転車×自転車			自転車×二・四輪車			自転車単独			計		
	件数	死者	傷者	件数	死者	傷者	件数	死者	傷者	件数	死者	傷者	件数	死者	傷者
平成28年	24		24	6		6	4		4	3	1	2	37	1	36
平成29年	30		33	5		5	3		3	2	2		40	2	41
平成30年	22		22	9		9	6	1	5	4		4	41	1	40
令和元年	27		27	13		13	4		4	2	1	1	46	1	45
令和2年	22	0	22	11	0	13	4	0	6	1	1	0	38	1	41
令和3年	14	0	14	8	0	10	0	0	0	0	0	0	22	0	24
前年比	-8	0	-8	-3	0	-3	-4	0	-6	-1	-1	0	-16	-1	-17

※百分率は小数第二位で四捨五入するため、合計が100%にならない場合があります。

#### 4 自転車事故の発生推移 (基礎データ平成24年～令和3年)

発生件数では減少傾向が続いており、令和3年中は、ピーク時である平成16年(2,208件)の3割以下まで減少しました。

死者数は、近年、交通事故による死者数が減少する中、増減を繰り返しており、平成24年以降は7人以下で推移しています。



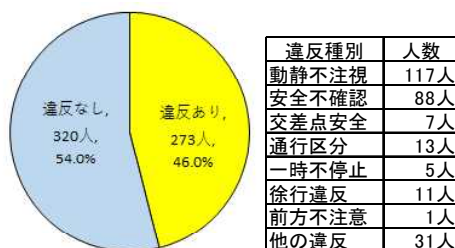
#### 5 自転車事故の特徴等 (基礎データ令和3年中)

##### (1) 死傷者の4割以上に違反

自転車乗用中死傷者の4割以上(593人中273人、46.0%)に違反が認められます。

違反別では、動静不注視(117人、42.9%)、安全不確認(88人、32.2%)が多く、通行区分(13人)等の危険な違反による事故も発生しています。

【自転車死傷者の違反】

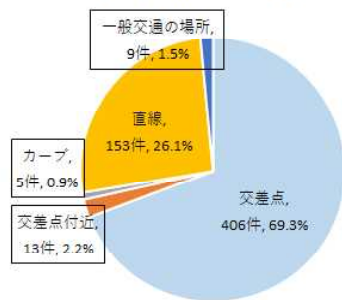


##### (2) 交差点での発生が多い

道路形状別では、約7割(586件中406件、69.3%)が交差点で発生し、全事故の構成率(4,286件中1,740件、40.6%)を28.7ポイント上回っています。

また、事故類型別では、出会い頭の事故が半数以上(586件中331件、56.5%)を占めており、全事故の構成率(4,286件中1,017件、23.7%)を32.8ポイント上回っています。

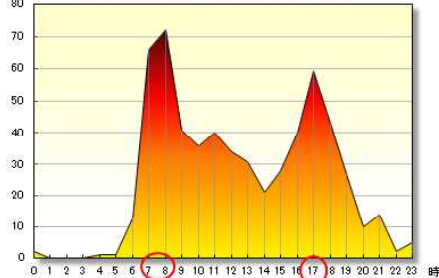
【道路形状別自転車事故】



##### (3) 朝夕の通勤・通学時間帯の発生が多い

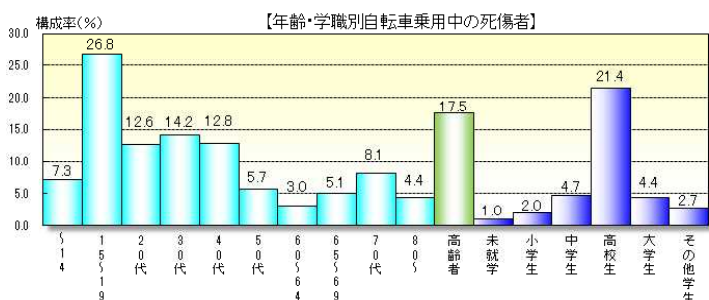
発生時間別では、朝の7～8時台及び夕方17時台を中心に、通勤・通学時間帯に多発しています。

【時間別自転車交通事故発生状況】



##### (4) 高校生の事故が多い

年代別に比べると15～19歳の割合が159人(26.8%)と最も多く、学職別では高校生の割合が127人(21.4%)と最も多く発生しています。



区分	計	年代別 I										年代別 II						学職別					
		～14	15～19	20代	30代	40代	50代	60～64	65～69	70代	80～	高齢者	未就学	小学生	中学生	高校生	大学生	その他学生					
死傷者数	593	43	159	75	84	76	34	18	30	48	26	104	6	12	28	127	26	16					
死者数	5		1									4				1							
負傷者数	588	43	158	75	84	76	34	18	29	46	25	100	6	12	28	126	26	16					

##### (5) ヘルメットの着用率が低い

自転車乗用中の死傷者593人のうち、ヘルメットを着用していたのは48人(8.1%)で、着用率が極めて低調です。

また、重傷以上の死傷者では、ヘルメット非着用の83人のうち24人(28.9%)は、ヘルメットを着用していれば負傷の程度を軽減できたと考えられます。

	死亡	重傷	軽傷	死傷者計
着用	0	6	42	48
非着用	5	78	462	545
うち効果あり	5	19	66	90